



ENOKI

えのき



榎の木



榎町特別出張所、榎町地域センター
玄関脇の花壇に「榎」の木が植えられて
います。

「榎町地域センター開館10周年記念」
として榎地区協議会が2012年3月
に植樹を行いました。早いもので来年は
当地域センター開館20周年になります。
この機会に成長した「榎」をご紹介させ
ていただきます。

管内には榎町という町名があり、特別
出張所・地域センターの名前にもなって
います。

名前の由来は、諸説あるようですが、
榎の字は「木」+「夏」ですから、公園に
植えられる事が多く夏の日陰を作るの
に役立っています。

榎の葉は先半分にギザギザがあり、葉
脈がつけ根で3本に分かれているのが
特徴です。

初秋には直径5ミリ程度の赤や黄色
の果実が熟すようですが、残念ながら
まだ実がついていません。

これから5年、10年と地域の繁栄と
共に、ますます大きく育っていく姿を見
守っていただきたいと思います。

江戸川小学校の 地域協働学校に参加して

今年度から江戸川小学校のPTA会長に就任した柏木です。PTAを核としながらも、PTAの枠にとらわれずに、江戸川小の教育や地域との関わりなど様々な機能のより一層の充実を目標として活動を行っています。さて、皆さんは「地域協働学校」という仕組みをご存知でしょうか？いいながら、私もPTAの運営委員会に参加するまでは恥ずかしながら名前も知らず、当然活動内容も知らないうちに。今年度から地域協働学校の一人として参加することになり、改めて地域協働学校という仕組みに感心しつつも、私にはまだまだです。

地域協働学校とは、学校と地域が連携・協働する中で、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互のパートナーとして様々な活動を行う場として学校を位置づけるものです。私にとって、最も象徴的な地域協働学校の取り組みとして「学校公開」があります。私が小学生だった数十年前に（歳がバレますね）、「保護者参観」と呼ばれていたものは、児童の保護者のみに学校や授業の様子を公開するものでした。しかし現在の「学校公開」は地域の皆さんに学校の活動をもっと知ってもらおうという場になっています。

地域協働学校の主な活動

江戸川小は平成26年に地域協働学校に指定されています。学校と地域との連携・協働を協議する学校運営協議会を設置するとともに、現在は地域ボランティアの皆様の力で6つの支援活動が行われています。

以上のような活動に加えて、地域協働学校は、地域の立場から学校の活動を評価する役割も担っています。PDCAサイクルと呼ばれるが、学校の運営・活動について「Plan（計画）」を作成し、その計画にしたがって「Do（実践）」し、その結果をきちんと「Check（検証）」して良かった点・改善すべき点を洗い出し、その反省を踏まえて「Action（改善）」で次の計画（Plan）をより良いものにしていくという一連の流れを行うのも地域協働学校の重要な機能です。

地域協働学校の充実に向けて

このように地域の核として地域協働学校である江戸川小をより充実していくことが私の活動の一つの目標です。

そのため、他の地域協働学校の様々な取り組みを調べたりもしています。その中で先日、新宿区立小学校PTA連合会（小P連）の研修事業の一環として三鷹市のみたかSCサポーターネット代表理事の四柳千夏子さんのお話を伺えたことは大変貴重な体験でした。この三鷹市の取り組みの中で、ぜひ本校を含めた地域協働学校の枠組みで取り組みたい活動のアイデアがありました。

それは「小学校6年、中学校3年の9年間で学ぶ防災教育プログラム」です。毎年防災訓練・教育は各学校や地域で行われていますが、その防災訓練・教育の内容が「マンネリ化」しているという悩みを聞きます。本当に基礎的な訓練は毎年行うべきものでしょうか、それに加えて「9年間でステップアップしていく防災教育」というコンセプトは大変示唆に富むものでした。

特に、地域の防災訓練に地元の小中学生にも参加してもらい、例えば中学生には「仮設ベッドや簡易トイレの設置」の経験を積んでもらったり、救急蘇生法の訓練に

1 運動支援部

児童の体力向上の取り組みを行う支援部です。「朝ギネス」と呼ばれる始業前のスポーツ活動支援が代表的な活動です。ちなみに江戸川小は平成30年度に体力・運動能力の総合成績が新宿区立小学校29校の中でトップになるなど運動支援部の活動は高い成果を上げています。

2 環境支援部

校庭の花壇や植栽に季節の草花を植えたり、それらの維持管理を行っていただいています。

3 図書支援部

「本の森ボランティア」と呼ばれています。児童への読み聞かせ活動や図書室の環境整備の支援を行っていただいています。

4 学習支援部

地域協働学校の活動の重点領域の一つである「社会に開かれた教育」に関する幅広い活動をしていただいています。例えば、地域の商店や企業の方々の協力の元、「弟子入り体験」という活動を行っています。子どもたちが現実の店舗やオフィスでリアルな就業体験を行うことで、「地域の産業の特色を知ること」と「将来の自分のキャリア形成を考えること」ができる非常に重要な活動です。

5 地域行事支援部

地域イベントへの参加・運営を支援しています。神楽坂の阿波踊り大会への「江戸小連」参加、納涼盆踊り大会、餅つき大会などのイベントを通じて地域と学校との連携を深める活動を行っています。

6 安心安全支援部

事故防止や防災などの活動を地域と連携して行っています。通学時の見守り活動や、地域と学校が連動した防災訓練などを行っています。

地域協働学校のしくみ



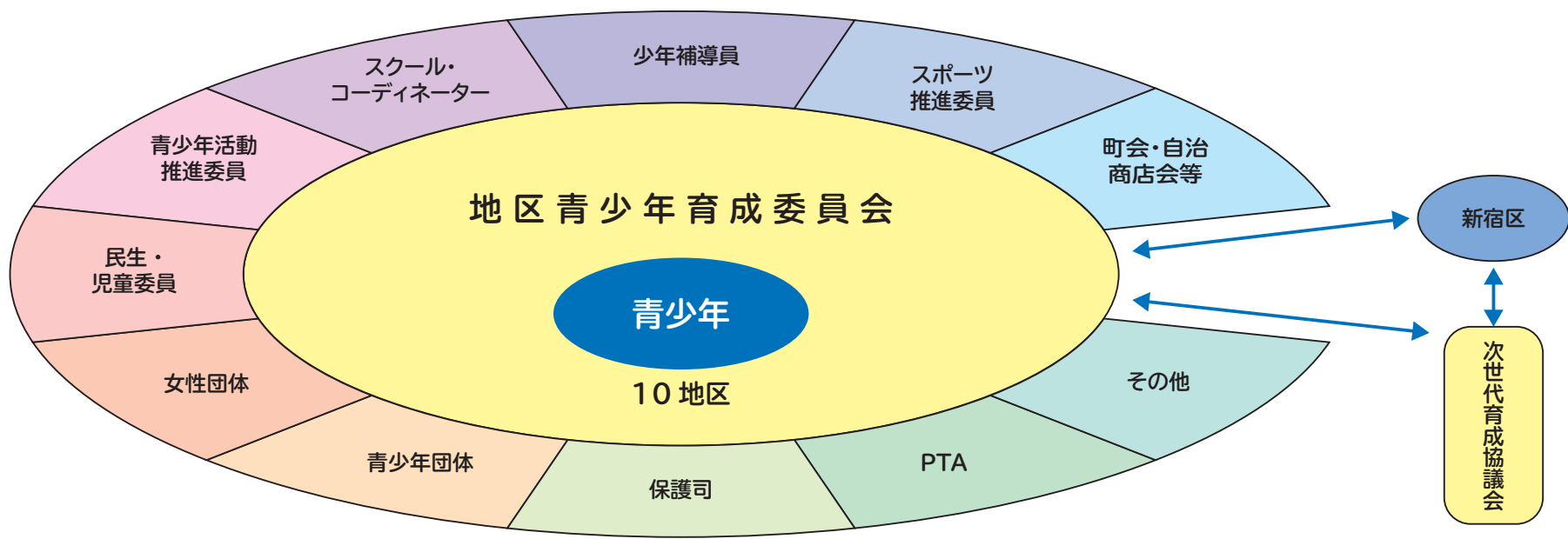
新宿区ホームページ「地域協働学校」より
https://www.city.shinjuku.lg.jp/kodomo/kyoshien01_002132.html

※（詳細は、新宿区立小学校PTA連合会 のFacebookをご覧ください。https://www.facebook.com/permalink.php?story_fbid=35825339565764&id=108880627259710）

青少年育成委員会は どんな組織

昭和46年6月に、自主的な地域組織として地区青少年対策委員会が組織され、平成13年6月に地区青少年対策委員会から地区青少年育成委員会に会の名称を変更し、特別出張所を単位として区内10地区で地域の実情に応じた自主的な活動を展開しています。

組織図



委員は組織図の校正団体において推薦された方々で構成されています。

● 育成会の活動

総務部

資料などの事務
社会を明るくする運動・人形劇・伝統文化を楽しむ会

校外生活部

牧場へ行こう・緑日・おまわりさんとマラソン大会・昔あそびももちの会

家庭部

夏休み手作り教室

全体事業

防災キャンプ・祭礼パトロール・榎クリーダー・センターまつりの協力

えのき文芸

短歌

病院の窓より見ゆる尖塔は

吾を迎へる阿弥陀如来か

青木 久彌

夏草の覆う路地裏蚊遣り香の

流れる町に住みて久しき

加藤千代子

肥後の庭紅葉集める幼子と

水琴窟の音を楽しむ

山口 敏子

俳句

掃き寄せし落ち葉の山の白ひけり

加藤 千代子

盆支度鬼灯飾り膳を置く

山口 敏子

川柳

二学期はやらのやらぬの二学期は

ワクチンは勝たねばならぬコロナには

菅野あきら

夢を持ち巣立った昔懐かしむ

ワクチン二度打つても自粛するコロナ

小山 一湖

夫婦でも付度混ぜて五十年

故郷は心の中に景色置く

田実 孜

足許にゴロリ腹見せ天睨む蝉

佐藤 明



榎町地域センター2階テラスの「むべの実 (アケビ科)」が色づきました。
令和3年9月23日 撮影

広報部からのお知らせ

広報誌「えのき」に関するご意見やお問い合わせ、情報提供など榎町地域センター事務局までお寄せ下さい。

「えのき」文芸に掲載の作品を募集しています。次号の俳句のお題は『冬』、川柳は自由吟です。

投稿はハガキがファックスに、俳句川柳の別を明記の上、12月10日(金)までに榎町地域センター事務局迄お送りください。

〒162-0042

新宿区早稲田町85

Tel (3202) 8585

Fax (3202) 2478

榎地区協議会委員募集

榎地区協議会は住民の皆様の意見を集約し、また行政の方針を検討し、地域の考えを区政に反映していく窓口として、がんばっていきます。

●お問合せ・ご応募

榎地区協議会担当(榎町特別出張所内)まで

〒162-0042

新宿区早稲田町85

榎町特別出張所内

Tel (3202) 2461

Fax (3202) 2476